

平成 30 年度～令和元年度 地域実践研究
「多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究」研究成果報告書

目 次

はじめに	1
第 1 章 研究の概要	
Ⅰ. 研究の背景と目的	11
Ⅱ. 研究方法.....	15
Ⅲ. 研究体制.....	17
Ⅳ. 研究活動の概要	18
第 2 章 「多様な教育的ニーズに対応できる学校づくり」に関する理論的背景	
Ⅰ. 「学校づくり」の視点－様々な領域からの課題提起.....	23
1. インクルーシブ教育システムの構築と推進の視点から	
2. 特別支援教育に関する体制整備の視点から	
3. 生徒指導に関する学校機能向上の視点から	
4. 自律的な学校経営を目指す視点から	
Ⅱ. 子どもの「複雑化・多様化した課題」に対応する学校づくりに関する研究.....	28
Ⅲ. 米国における「特別な教育」の位置づけの変遷と多層的な支援システム.....	34
Ⅳ. 「多様な教育的ニーズのある子どもの学びを保障する学校づくり」を実現する多層的な支援システム（MTSS）の提案.....	43
第 3 章 各指定研究協力地域における研究	
Ⅰ. 過ごしやすい学校づくり・わかりやすい授業づくりをめざした校内研修の在り方	

一 高等学校における多面的な生徒理解と指導・支援の充実に向けて <奈良県>.....	53
II. 高等学校の学校づくりにおける特別支援学校との連携 <静岡県>.....	77
III. 校内の教育支援体制のさらなる充実に向けた方策の検討 <横須賀市>.....	223
第4章 特色ある学校における「学校づくりのプロセス」についての事例	
I. 事例収集の目的と方法.....	265
II. 学校づくりのプロセスについての事例	
事例1. 「そろえる つながる」をスローガンに共生社会を実現する人材を育てる	
学校づくり (A 小学校)	267
事例2. 子どものエンパワメントと支援の充実を核とした学校づくり (B 小学校) ...	275
事例3. 生徒が主体的に学ぶ教育活動の充実を図る学校づくり (C 中学校)	282
事例4. 障害の有無にかかわらず共に学び共に成長する学校づくり (D 高等学校)....	289
III. 考察	296
IV. その他 参考になる学校の情報.....	305
第5章 学校づくりデザインマップ (試案) の提案	
I. 「学校づくりデザインマップ (試案)」のコンセプト.....	317
II. 学校づくりデザインマップ (試案) の作成と提案.....	318
第6章 総合考察	
I. 各指定研究協力地域における課題解決に向けた取組.....	326
II. 「学校づくりデザインマップ」(試案) とその活用の仕方の提案.....	327
III. 教育全体における特別支援教育の役割と位置づけ.....	328

<資料>

資料 1. 多様な教育的ニーズに対応できる学校とは～インクルーシブ教育システム推進 の施策と学校現場の取組の視点から～(第 2 章 I).....	333
資料 2. 多様な教育的ニーズに対応できる学校とは～「発達障害を含む障害のある幼児 児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン」の視点から～(第 2 章 I)..	339
資料 3. 多様な教育的ニーズに対応できる学校とは～生徒指導に関する機能向上の視点 から～(第 2 章 I)	343
資料 4. 多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する質問項目.....	349
資料 5. 学校づくりのプロセスに関する質問項目	351
資料 6. 学校づくりデザインマップ(試案)	353

研究成果報告書の構成及び要旨

本研究成果報告書は、平成 30 年度～令和元年度の 2 年間に実施した、研究チームの研究、及び、各指定研究協力地域の課題を踏まえた地域実践研究員による研究の報告である。全体の流れとしては、本研究の『「多様な教育的ニーズに対応できる学校」の視点を整理し、それを推進するプロセスや方策について、学校現場に具体的な提案を行う」という目的に沿って論を展開し、地域実践研究員の研究報告については、その研究全体の文脈に位置づけて紹介している。

第 1 章では、研究の背景と目的、研究方法、研究体制等について述べている。

第 2 章では、「多様な教育的ニーズに対応できる学校づくり」の理論的な背景について、様々な角度から整理し、学校づくりの目指す方向性やその推進の方策について提案している。関連する文献等の中から、特に、米国における学力向上の取組と結びついた学校づくりのモデル「多層的な支援システム」(Multi-Tiered System of Supports: MTSS) に注目した。本研究では、最終的に、「多様な教育的ニーズのある子どもの学びを保障する学校づくり」を可能にする、我が国における「多層的な支援システム」のモデルを作成し、多層的な支援システムを機能させるための視点を整理した「学校づくりデザインマップ(試案)」を提案しているが(第 5 章)、この第 2 章はその理論的背景となるレビューである。なお、このレビューにあたっては、研究協力者に知見をいただいております、それらの寄稿は資料として巻末に掲載している。

第 3 章は、指定研究協力地域における研究であり、静岡県(2 年間)、横須賀市(2 年間)奈良県(初年度のみ)の各地域実践研究員が研究報告を行っている。いずれの研究も、各地域における学校づくりに関する調査や課題解決を実施するにあたり、「多層的な支援システム」や検討過程にあった「学校づくりデザインマップ」の視点を各地域の研究において活用した。また、最終的な「学校づくりデザインマップ(試案)」には、各地域の研究から得られた知見が採り入れられた。

第 4 章は、特色ある学校の学校づくりプロセスの事例である。本研究では、多様な教育的ニーズに学校ぐるみで対応し成果を上げている学校について、研究協力者や教育委員会等から推薦のあった 8 校(小学校 4 校、中学校 2 校、高等学校 2 校)について訪問調査を行った。さらにそのうちの 4 校(小学校 2 校、中学校 1 校、高等学校 1 校)については複数回訪問し、3 年～5 年をかけて行われてきた学校づくりのプロセスについて詳細な情報収集を行った。これらの学校づくりのプロセスの事例から、多くの学校や教育委員会が参考にできると思われる取組についての考察を行っている。この考察は、第 5 章で提案する「学校づくりデザインマップ(試案)」の内容と連動している。

第 5 章は、「学校づくりデザインマップ(試案)」の提案である。日本の教育施策や学校文化を反映した資料とするために、第 4 章の学校づくりのプロセスの事例の考察から得られた知見を反映している。また、第 3 章の指定研究協力地域が実施した研究から得られた